

別記様式2

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔教育学部(第四類)〕

プログラムの名称	(和文) 音楽文化教育副専攻プログラム
	(英文) Music Culture Education
1. プログラムの紹介と概要 音楽文化教育副専攻プログラムでは、音楽学および音楽教育学の基礎的知識及び音楽実技の基礎的技能を習得することにより、現代社会における様々な職業や生活の場面で求められる音楽的素養を身につけさせる。	
2. プログラムの到達目標 教養ある社会人として必要な、音楽的素養を身につける。	
3. プログラムの履修時期・要件 (1) 履修開始時期とプログラム登録時期 2年次。 履修開始前に登録すること。 (2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等) ソルフェージュⅠ、ソルフェージュⅡ、作曲基礎研究Ⅰ、作曲基礎研究Ⅱは、1年次に履修しておくことを認める。 1年次において40単位を修得していること。 (3) 履修上の注意点 授業に必要な、ある程度の読譜能力をもっていること。	
4. 教育内容・構造 (1) 修了に必要な単位数 16単位。 (2) 副専攻プログラムの構造 ソルフェージュⅠ、Ⅱ、合唱Ⅰ～Ⅳ、オペラ実習Ⅰ～Ⅳ、作曲基礎研究Ⅰ、Ⅱ、作曲1、2において音楽実技の基礎的技能を、西洋音楽史Ⅰ、Ⅱ、日本音楽概論において音楽学の基礎的知識を、音楽文化教育史、音楽教育学概論において音楽教育学の基礎的知識を習得する。	
5. 授業科目及び授業内容 授業科目については、別表の履修表を参照すること。 授業内容については、各年度に公開されるシラバスを参照すること。	
6. 評価 (1) 試験・成績評価 各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。 (2) 修了判定の基準	

「5. 授業科目及び授業内容に示す授業科目」(別表の履修表)のうち、16単位を修得すること。

7. プログラムの責任体制

本プログラムは、主として教育学部の音楽文化教育学講座のスタッフにより遂行される。その遂行上の責任は、プログラム責任者(音楽文化教育学講座の主任)にある。計画・実施・評価検討・対応は、本プログラム教員全員が行う。

8. プログラムの受入上限数

5名

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

8単位

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

8単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

音楽文化教育副専攻プログラム

科目区分	授業科目	開設 単 位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開 設 学 部	備 考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専門 基 礎 科 目	音楽教育学概論	2	2						16	教 育 学 部	
	西洋音楽史Ⅰ	2	2								
	作曲基礎研究Ⅰ	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	合唱Ⅰ	1	2								
	合唱Ⅱ	1		2							
専門 科 目	音楽文化教育史	2				2					
	日本音楽概論	2			2						
	西洋音楽史Ⅱ	2		2							
	ソルフェージュⅠ	1	2								主専攻プログラムでは1セメ
	ソルフェージュⅡ	1		2							主専攻プログラムでは2セメ
	オペラ実習Ⅰ	1	2								
	オペラ実習Ⅱ	1		2							
	オペラ実習Ⅲ	1			2						
	オペラ実習Ⅳ	1				2					
	合唱Ⅲ	1			2						
	合唱Ⅳ	1				2					
	作曲基礎研究Ⅱ	2		2					主専攻プログラムでは2セメ		
	作曲Ⅰ	1			2				主専攻プログラムでは3セメ		
作曲Ⅱ	1				2			主専攻プログラムでは4セメ			
合計								16			

〈履修上の注意〉

1. 西洋音楽学Ⅰ、Ⅱ、作曲基礎研究Ⅰ、Ⅱ、作曲Ⅰ、Ⅱ、ソルフェージュⅠ、Ⅱは、それぞれⅠ(1)から順に履修すること。